

修景計画など植栽環境改善について

植栽委員長 濱浦 清

日頃、植栽委員会の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

35年を経た団地の植栽は、緑の豊かな自然な景観をもたらしてくれている一方で、大きくなりすぎた樹木やボリューム、過密な植栽環境による日照への影響等、大木による被圧や樹齢が嵩んできたことによる樹勢や樹形の劣化、過去の伐採により空間のままとなっている箇所の景観回復や伐採跡地の露地の雑草繁茂対策の必要性、大木化による根上り等で植栽樹の変形や破損が進み通行への障害や危険を及ぼす恐れがあること等、団地の生活環境への負の影響が生じています。この現実を見据えたうえで、平成29年度の植栽委員会に於いて、従来の伐採・剪定を中心とした植栽管理計画からの脱却が必要であるとの認識に立ち、植栽の世代交代を図ることによる植栽の若返りや植栽景観の回復を目指した計画を検討しました。

その一つに、平成30年度の植栽委員会活動の大きな柱である団地東側と北側(ホンダ)側植栽帯の修景計画があります。すでに皆様ご存知の通り、5月中旬から工事に入り6月末に新植を含め一通りの工事が完成しました。新たな植栽景観として皆様の目に映え落ち着くには、今暫く日時が必要と思われませんが、秋には紅葉、春にはきれいな花が咲き誇る等、季節を追って花や葉色(紅葉)をお楽しみいただけるものと考えております。

団地内植栽に関しましては、多種多様なご意見やご要望がありますが、おおかたの住民の皆様のご理解ご賛同を頂ける案として修景計画を取りまとめたもので、今後新植樹木の生長度合いを見ながら、団地の植栽景観としてふさわしい姿になるよう、団地内他植栽帯と同様、年度管理計画の中で必要な剪定等の管理を行ってまいります。新植樹木の生長に連れ新たな景観として皆様に受け容れられ、

皆様の生活環境によい変化をもたらすものと確信しておりますので、温かく見守っていただきたいと思っております。

この修景計画の他に、棟周りや広場周りの伐採跡地やまばらになった寄植等植栽環境の悪い箇所には新植・補植を行います。又、変形・破損した植栽樹に付いては、所管の建物施設委員会へ実務面で協力し、通行への障害や危険箇所について昨年度に引き続き本年度も改修工事を行う予定にしております。

植栽委員会といたしまして、植栽管理を通じ住民の皆様様の生活環境の改善に努めますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

東側



北側(ホンダ側)

